

津波想定 病院で避難訓練

釧路、職員ら200人参加

釧路市愛国の社会医療法人孝仁会で10日、巨大地震に伴う津波災害を想定した訓練が実施された。東日本大震災を契機に災害対策を

強化しており、職員ら約200人が参加した。根室沖での巨大地震の発生確率が今後30年以内に80%程度と上昇していること

を踏まえ、釧路で震度7の地震と釧路沖で10メートルを超え

る津波を想定した。

釧路孝仁会記念病院と近



車いすの人を避難させる
病院職員ら＝釧路市愛国

くの三つの介護施設の職員、看護専門学校生徒らも参加した。介護施設が水没する想定で、68人の生徒は施設の入所者役になり、車いすなどに乗って、病院2階への避難訓練を行った。

災害訓練担当の加登護医師は「大変だということによく分かった。検討課題も見つかったので、そういう意味では成功。マニュアルの見直しや訓練のやり方も考えたい」と話した。

(佐藤靖)